

## 議会だより



7月24日古座河内祭り御舟渡御 役場古座分庁舎前を河内様に向けておこそかに進む御舟

## 誌面紹介

- ◆ 議長挨拶 各委員会のメンバー紹介 P 2
- ◆ 管内視察報告 P 3
- ◆ 6月定例会の概要 P 4 ~ 5
- ◆ 議員紹介(自己紹介・一般質問等) P 6 ~ 14
- ◆ 各常任委員会の活動 P 15
- ◆ 議員研修会報告 編集後記 P 16

# 去る6月6日 全議員で管内視察を行いました。

合併により広くなった串本町管内に点在する町の関係施設を一日かけ視察しました。  
広くなった我が町。多くの課題を抱えた施設運営に議会としても取り組んで参ります。



**串本町**

## “新しい町づくり”

今度、新串本町の初代町議会議長の大任となりました。浅学非才だけに、渾身の努力を心することです。何卒ご指導下さいませ。

時代は、自己決定、自己責任を柱にした地方分権の推進です。住民、議会、行政が一

体となって、本州最南端、豊かな自然資源と勤勉な人材に

より、共生を理念に、暮しやすい、新しい町づくりが急がれます。

議会は、次の課題等を中心

に特別委員会の設置等、行動

体制を整えました。

- 1、地震、津波等防災対策。
- 2、自然資源を活した地場産業の創造と振興。
- 3、適切な新病院の建設。
- 4、循環型社会を目指した、ごみ処理対策。
- 5、行政改革を急ぎ、教育振興、住民サービス向上する。

**川勝昇**



## 《各委員会のメンバー紹介》

★委員長 ☆副委員長

議席	氏名															常任委員会	
18 梅野 光児	17 橋爪 和雄	16 角 将範	15 椿谷 黙	14 寺町 忠	13 和田 良太	12 辻 大介	11 漆畠 繁生	10 古久保 捷	9 瀬田 勝裕	8 谷口 昇男	7 藤田 勝彦	6 清水 和子	5 村上 修	4 仲江 孝丸	3 川勝 昇	2 水口 崇	1 結城 力
○	★		○	○	○	○	○	★	○	○	☆	○				☆	
○		○	○	○	○	○	○		○	☆	☆	○				○	
○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○			★	★	
○	○	○	○	☆	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
○	○	★			○	☆	○	○	○	○	☆				★	○	○
○	○																

## 串本町議会議長挨拶

### 特別委員会

今回は原則として約1年の期間存続する臨時的な委員会です。

#### ○病院対策特別委員会

現串本病院・古座川病院に関する診療体制、財政問題等経営健全化について審査・調査を行う。

#### ○循環環境推進調査特別委員会

循環型社会の創造、ごみ処理問題等について審査・調査を行う。

#### ○行政改革特別委員会

住民福祉の向上と財政健全化の促進、行政組織及び財政運営改革等について審査・調査を行う。

#### ○議会広報特別委員会

議会活動状況を広く住民に周知するため、議会広報（議会だより）の発行及び広報活動を行う。（最終ページにメンバー紹介。2年の任期）

## 串本町手数料条例の一部改正について



ゴミ処理手数料としてゴミ容器袋の販売価格が、合併協議では両町の料金を足して二で割る方法で決められていきましたが、町長の選挙公約の一つとして値下げされることとなりました。袋の値段は何のための費用であるのか、値下げすることによって生じる影響額は、袋の値段だけではなくゴミ収集のあり方を含め再検討すべきなど、多くの意見が出されました。全員一致で可決されました。



## 串本町病院問題検討委員会設置条例の制定



現在の串本病院と古座川病院を統合して新病院を建設することや、診療科目等について総合的に検討するために委員会を設置することになりました。20人の委員で構成されますが、その内10人を住民から公募するとの方針です。

重要な委員会であり、審議を形骸化させないためにも条例の中に委員会の公開を明記するよう議会の指摘があり、後日条例が改正され公開が書き加えられました。

## 一般質問

質問とは、「議員がその町村の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの」(議員必携)で議員固有の権能です。

6月議会の一般質問には議長を含む17名が質問席に着き、町長や教育委員長の所信をただしました。一般質問の持ち時間は一人90分。途中で時間オーバーになる議員もいて、連日会議の時間延長を行ったものの当初に予定した3日間では終わらず、会期を1日間延長しました。



## 意見書

### ◎ 道路整備の促進と財源確保を求める意見書（案）の提出について

〔提出先〕 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、経済財政政策担当大臣、行政改革担当大臣

### ◎ 分権時代の新しい地方議会制度の構築を求める意見書（案）の提出について

〔提出先〕 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣

※両議案とも、全員一致で可決されました。

## 6月議会の概要

新町発足後初の定例議会が6月20日から7月7日まで（会期18日間、本会議12日開催）の日程で開かれました。4月1日の新町発足の時点では町長も町議会も不在であったため、職務執行者（加藤前古座町長）が町の業務を途切れることなく進める上で必要な条例の専決処分をおこない、暫定予算を執行してきました。

5月1日の選挙で選ばれた町長と議会は臨時議会を開き、専決処分と暫定予算の承認を行いましたが、6月議会では松原町長による予算総額90億3,800万円の本予算が提案され、4日間に及ぶ審議を経て全員一致で可決しました。これにより4月から仮執行されてきた暫定予算は本予算に吸収される形となりました。

### 主な議案について

#### ○選挙管理委員会委員 議会の指名推薦で当選となりました。

河野 九一氏 (田並)	関戸 一嘉氏 (田原)
津井 進氏 (古座)	田城 博章氏 (和深)

#### ○人権擁護委員に町長より次の方の推薦があり同意しました。

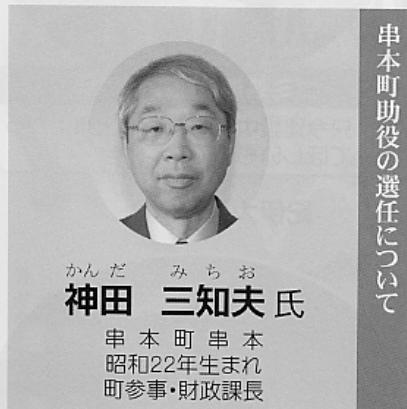
岩谷 悠史氏 (潮岬)

#### ○串本町長等の給与に関する条例の一部改正

町長 月額 664,000円を 531,200円に
助役 月額 560,000円を 448,000円に

それぞれ改めるものです。

教育長の給与についても2割削減する条例が予定されていましたが、急遽取り下げとなり、助役の選任、教育委員の選任の同意案件に差し替えになりました。尚、収入役についても改正が行われましたが、議会最終日に収入役を置かないことが決定されて、条例から削除されました。



串本町教育委員会委員の任命について

教育長給与の削減議案の撤回ともからんで、選挙公約との関係を質す議員もあり、文部科学省からの教育委員の受け入れは、「地方教育行政の自主性の侵害」との否定的な意見から「大きな観点で串本の教育界に風を」との期待まで賛否両論が出され、採決の結果、賛成9（水口・清水・谷口・和田・角・漆畑・古久保・橋爪・梅野の各議員）反対7（仲江・村上・藤田・瀬田・辻・寺町・椿谷の各議員）退席1（結城議員）で承認されました。

## 議員紹介 &amp; いっぽん質問

平成9年1月初当選、四期9年目。合併という歴史的な事業にも参加させて頂きました。財政難・考え方の多様化・情報化・国際化・効率化等自治体を取り巻く環境は大きく様変わりしました。また「三位一体の改革」により地方には益々厳しい変革を求められています。

私達議員も多くの知恵や知識を以って、次世代への様々な町にしてつなげていくのか日々研鑽しております。

一期目より「知恵と探求心」を旗頭に多くの人脈や情報網を持ち、常に日線を上に向けて参りました。

今後とも臆することなく住民の代表として皆様の声を行政に届けて参ります。



水口 崇

## 基幹病院とサテライト病院

**6月議会の一般質問**

教育現場と取り組み（二）  
ト対策・統廃校の基準）・学  
校給食・学校開放・新串本病  
院建設（医療圈での連携）・救  
急医療（新型救急医療センター）  
・乳幼児・小児救急医療）



30歳の時に古座町議会議員に当選し、以来17年間議員を勤めてきました。新町の議員となつて、これまでの経験をフルに生かしてより良い町づくりに邁進します。

私は、評論家で終わることのないよう、町おこしの実践を心がけています。例えば、古座観光協会のメンバーとしてカヌーのインストラクターの資格も取り、繁忙期には手伝いにいつています。

冬は田原の海霧情報をインターネットで発信してきましたし、最近は大辺路刈り開き隊のメンバーにも加わりました。町の魅力を掘り起こし、町についていく。そのことが、町



ホームページ  
<http://homepage2.nifty.com/kozaminpou/>

## 議員紹介 &amp; いっぽん質問

# 議員紹介

## 六月議会一般質問



新串本町議会広報創刊にあたり各議員の自己紹介と六月議会一般質問を掲載いたしました。



串本町と古座町が合併して半年が経過しました。  
一日も早く、合併の大きな目的である行政の効率化・合理化を進める必要があります。経常的な経費を節減して、福祉・防災・地域経済の活性化など、住民のために使えるお金が確保できるように、行政の仕組みを変えなければなりません。  
合併によって生じた旧両町間の調整すべき課題も残されています。

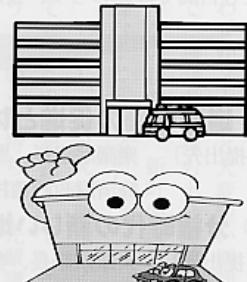


## 町村合併後の課題



結城 力

府舎や病院など公共施設の配置の問題についていえば、現在の並立している状況ではお金がかかりすぎます。痛みを分かち合い調和と均衡のバランス感覚を持ち、串本へ・古座へというような地元意識を捨て、大所高所の見地から判断することが肝要と考えます。  
また、合併によって不便になつたとの声を聞きます。  
窓口業務をはじめとした行政全般を見直し、行政サービスの質を高めて、住民の皆様のご理解が得られるような役場にしなければなりません。  
この新しい串本町を、暮らしやすい町・住民本位の町にしますため、励み努めます。



## 議員紹介 &amp; いつばん質問

町の計画作りには「町づくり委員会」を設置して多くの市民と町職員が知恵と力を集めて作成することによってお互いの理解が深まることが期待されます。提案していると



藤田 勝彦



新串本町議会に送つていただいた皆さんのご支援に心から感謝申し上げます。  
私は「住民こそ主人公」の立場で町の政治は民生の安定・福祉・暮らし・教育の向上にこそ力をつくすべきと考えます。新町がスタートしましたが、何よりも一刻も早く一休感が実感できる町にしなければなりません。



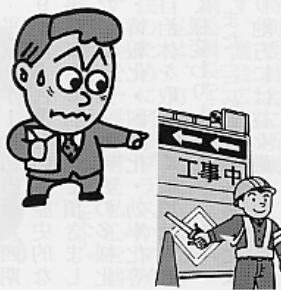
谷口 昇男

新町に対する市民の期待に応え、不安を解消し、新しい風を吹かせるための議会の役割は、大変重要です。議員の責任も重いものがあると自覚しています。

- 町税をはじめ、滞納金、未収金に対する処理
- 行政改革
- 給食問題
- 開発公社の諸問題
- 大型共同作業場の将来展望

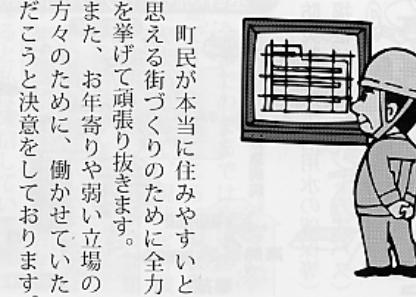
## 議員紹介 &amp; いつばん質問

私は常に、眞実を語り、不正のないクリーンな町政を目指し、今年5月1日の新町の議會議員の選挙で当選させていただき、四期目をむかえております。



村上 修

私は、今回の当選で新たな気持ちで町民の皆さんにうそをつかず不正を正す勇気を持った議員である事を固く誓いたいと思います。

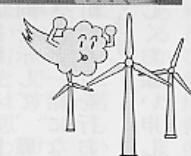


町議員といえども、政治家であります。政治家が、うそつきで、信念がなく、不正を正す勇気がなかつたら、町民の幸せを、守る町政を到底実現することは出来ません。



清水 和子

私は議員活動の軸に「持続可能な社会の実現」「循環型社会の推進」「聖域なき行財政改革の推進」を据えています。誇りある田舎町を持続発展させるためには、如何にして無駄な出費を抑えるか。

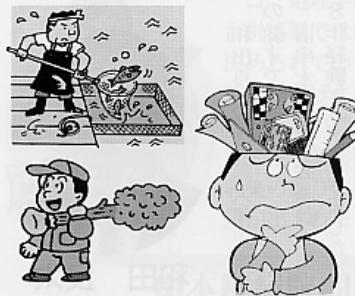


私は、「住民の知恵、女性の感性、民間の経営感覚で町の再生を！」との思いで議員の道を選びました。母子家庭の母親として、また、小さな建設業の経営者として苦しい財布のやり織りをして来た経験が少しでも町政運営に役立てば、と願っています。

私は、如何にして少ないお金や物を生かして使うか。住民・女性・民間の視点の中こそまさに厳しい時代を生き抜く知恵が含まれていると考えています。

当面の具体的な目標として「生ごみ資源化」「自然エネルギー開発」等、串本町を環境産業の先進地として全国に発信し、官民協働で地域再生の礎を築きたいと願っています。

## 議員紹介 &amp; いっぽん質問



塗畠 繁生

私は、串本町上田原の漆畠繁生です。旧古座町の議員を一期9ヶ月務めさせていただきました。9ヶ月という、議員生活でしたが、合併問題が一番大きな議案であつたと思います。新串本町が誕生し、私も新町の議員として、町政に携わる事を誇りに思ひ、難問題の解決と発展に務めてまいります。

## 新病院の建設について

地域医療と新たな財政負担との間でむずかしい問題であるが、どの程度の規模になるのか。5年めどに建設と云が、両病院に一般財源から4億3千万円余、繰り入れておる計算になり、もっと早く建設してはどうか。

**産業の振興について**  
農業—地産地消の今後の取り組みについて。水産業—漁民の所得の向上策は、林業—材木の価値より環境林としての取り組みについて。観光業—体験型観光の取り組みについて。

串本高校を卒業後、関東の大学で4年、そのままHONDA系の会社に19年間勤め、H12年4月に23年ぶりにUターン。今年で、大島と他での生活の期間が同じになつた。言葉の発音は混ざつていて当然、人は「変な関東弁」を使っていました。

趣味はスポーツが主で、高校、大学時代はバスケットボール（大学では児童文化研究部所属）、会社でもバスケットボールを創り仕事が終わって、汗を流してその後、お酒を飲んで仲間と語り合うのが樂しみでした。

30代半ばになるとバスケもきつくなり、スポーツ少年団でミニバスの指導をやつてきました。今はウォーキング程度で運動不足ぎみ。月1回程度の「草刈り作業等」でも汗をかいります。まだ、議員経験の少ない私ですが、一般の会社での貴重な経験と社労士の専門知識を生かして、素晴らしい町の建設に向けて取り組んでいきます。



辻 大介

## 議員紹介 &amp; いっぽん質問



今年、旧串本町の1月選挙と新串本町の5月選挙で当選回数2回ながら議員歴、わずか6ヶ月の新人です。

産業建設委員会と、行財政改革特別委員会と、議会広報特別委員会に所属しております。議会広報特別委員会では副委員長をしております。

私は、町のために、また市民のために何がプラスかマイナスかを一番に考え私心を捨て働く所存でございます。



濱田 勝裕

合併したとはいえ過疎の町に変わりありません、新風を吹き込み町に活力を与えるべく、日夜方策を考えています。



今までのままでは衰退の一途です。もうここで現状肯定を止めにして、現状を打破し、知恵を出し合い新たな第1歩を踏み出しましょう。

その積み重ねが大きなうねりとなつて新しい町の活力になると私は確信しています。

少子高齢化、学校統合、給食、ゴミ、防災、病院、財政、人口減少等々様々な問題を抱えていますが、町民の皆様と共に手を取り合つて、明るく、豊かな住みよい街づくりをしていきたいと考えています。



病院の問題、行財政改革の問題、学校統合と学校給食の

異例とも思われる2回の選挙に出馬し皆様のおかげで、2回とも当選させていただきました。

古座町との合併で新しい串本町の船出ですが、多くの問題をかかえての出港です。



古久保 捷

問題、ごみ問題、いつ来るかにならせてもらいました。

定例議会は、6月20日にはじまり、最終的には会期を一日間延長して、7月7日で終りました。

一般質問で、各課で取り扱っている手数料及び使用料の価格は適正であるかたたしました。

合併をしてよけいに苦しい町になつたのではないか。

経常収支比率98%です。けつして内容のよい町とは思われません。

最後に一日も早く旧串本町や旧古座町とか議会で言われているあいだ、合併した事にはならないと思う。

一日も早くこの言葉が出てこない串本町にしなければならないのではないか。

今はウォーキング程度で運動不足ぎみ。月1回程度の「草刈り作業等」でも汗をかいります。まだ、議員経験の少ない私ですが、一般の会社での貴重な経験と社労士の専門知識を生かして、素晴らしい町の建設に向けて取り組んでいきます。

熊野古道大辺路や朝市でのIT、防災、お年寄りや子供への医療や福祉の充実に取り組みます。モットーは「いつも微笑んで、夢を持って、そして輝きたい。」

## 議員紹介 &amp; いっぽん質問

新串本町合併について思う。  
この合併で新串本町議会議員になつた。旧古座町で一期。大変大きな、また大事な事である合併について、色々な人達が色々な意見が出たようであるが、私は合併賛成である。

小さな町串本・古座が一つになるのである。今はまだ結果も何も出ていない。今後5年10年と月日がたつて結果も少しずつ出てくる事だろう。ただそこへ行く迄いかに我々議員たちの考え方とか町長と三役行政のやり方一つで大きく進路が変わってしまうのである。その事を思うと一段と心の引き締まる思いである。与えられたこの4年間、一生懸命がんばりたい。



椿谷 勲

私は6月議会の一般質問でも聞きました。農林水産業の振興と商業の活性化、雇用の促進と増大、高齢者への福祉と介護施設の充実、の3点。

過疎、高齢化の急速な早さで進む中、これら一つ一つをいかに解決していくのか、その結果において我々串本町も生き残れるのではないか、我々に与えられた大きな問題であるのは言う迄もない。

新串本町のみなさん、こんにちは。私は町議歴8年余りの若輩者ですが、今後何卒よろしくお願い致します。

私は、串高卒業後、名古屋商大に進学し、就職は東京の商社に7年間勤務した後、29才で串本に帰ってきました。

ふるさとに帰つてからは、高校、大学と剣道部に所属して経験から、小・中学生の剣道指導者として、21年余り努めました。その間、子供達の努力が実つて、和歌山県下、近畿管内で、子供達が活躍できた事が、今も私の誇りであります。

8年余り前に47才で町議になりました。

議員として、町民の為の、町民の政治、健全なる政治を目指しています。

私たちの町が良くなる為に、新串本町の、住民、役場、議会が、一致団結し、一丸となって改革に向かわなければなりません。私は、新串本町の未来はないと確信しています。

私も行政改革特別委員長として、全力で取り組む覚悟であります。

どうか、町民のみなさんの、ご指導、ご提案、よろしくお願い致します。



角 将範



具体的には、私の政治目標として7つのマニフェストを町民に示しています。

## 議員紹介 &amp; いっぽん質問

和田良太です。大年生まれの58才です。旧串本町の町会議員を二期8年経験させて頂きました。

職業は漁業ですが、議員であるがために色々と「経験がない」がモットーで動物園、農業、食堂、養鶏など、自分で体験しながら町民の皆様と苦楽と共に分かち合うことを基本とし行動しております。



和田 良太

農業、漁業、観光と活気を取り戻し串本が安心して暮らすやさしい町となりますよう全力で頑張っていく所存でございます。

これから時代は、人間いかに社会に貢献することであると確信して止みません。

和田良太 拝

4月1日、二町が合併して新串本町がスタート致しました。この重要な時期に、議会に席を置くことが出来ましたことは、私自身、大変うれしく思います。同時に、その責任の重大さに、身の引締る思いでいっぱいです。



寺町 忠

旧串本町での議員経験は、わずか2ヶ月と大変短い期間で、議会の中身も十分理解し得ない状態で、新町の議会に臨むことになりました。

しかし、たとえ経験は浅くても、この町を良くしていく、という気持ちは、先輩議員の方々と同じであります。

私は、常に是々非々の姿勢を持って議会に臨む所存です。町民の皆様のご期待に添えるよう、一生涯日々精進して参ります。この4年間、よろしくご指導、ご支援賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



## 各常任委員会の活動

◆【常任委員会】各事務の調査と議案、請願、陳情等の審査を行っています。

### 総務常任委員会閉会中継続調査事項

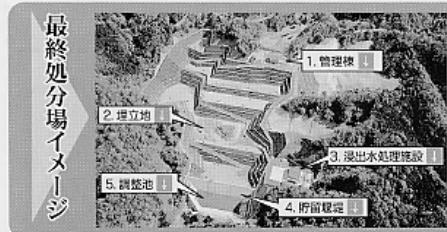
- (1) 地震、津波被害に対する防災対策について
  - (2) 教育環境・学校統廃合について・学校給食の完全実施について
  - (3) 議会ＩＴ化推進・ケーブルテレビでの議会放送について・議会のインターネット配信について・ケーブルテレビ事業について
  - (4) 議員倫理条例制定について
  - (5) 庁舎内の喫煙について
  - (6) 町有財産の管理について
- 以上の調査研究を重ねています。

○6月30日開催の委員会では、教育委員長、学校教育課長等に出席を求め、教育環境について会議を開きました。学校の統廃合については、合併後の基本構想の見直し等の説明があり、また、学校給食については、9月頃を目処に検討委員会を立ち上げるとの説明がありました。



### 厚生常任委員会閉会中継続調査事項

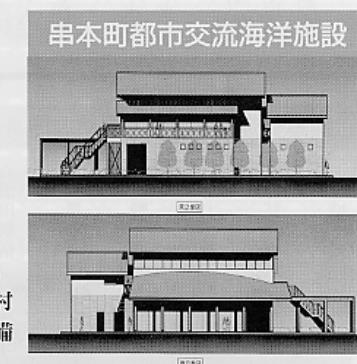
- (1) 福祉施策全般調査、研究について
  - (2) 廃棄物行政全般の調査、研究について
- 以上の調査研究を重ねています。



○6月16日、30日の委員会では、松原町長、環境衛生課長等の出席を求める最終処分場等の整備進捗状況と田並最終処分場の当局の考え方について説明を受けました。また、旧古座町・串本町ごみ減量等推進審議会からの答申の説明と、新たにごみ減量等推進審議会を立ち上げ、今後もごみ減量化の方策を検討していくとの答弁もありました。

### 産業建設常任委員会閉会中継続調査事項

- (1) 農業振興、有害鳥獣対策について
  - (2) 地域通貨における商店街の活性化について
  - (3) 新漁村コミュニティー基盤整備事業（串本町都市交流海洋施設）について
  - (4) ラムサール条約、サンゴ礁の保護対策について
  - (5) クリーンエネルギー発電について
  - (6) 古座ヴィラ地区飲料水供給事業について
- 以上の調査研究を重ねています。



○6月14日開催の委員会では、経済観光課長等の出席を求める串本町農業委員会委員議会推薦者の候補者を選出し、新漁村コミュニティー基盤整備事業と船瀬地区漁村づくり総合整備事業について説明を受けました。

## 議員紹介 & いっぽん質問

松原町長の施政は日本一の町づくり。将来へ希望のもてる施策の推進。町長自ら給与を2割減。私は松原町長の施政の取組みに参加できる事を大変嬉しく思っています。私の施政は「人づくり」、「優しい町づくり」、「住みよい環境づくり」です。



**橋爪 和雄**

私は施政を一般質問で質問させていただきました。町の経費はいくら削減しても限界があります。一番先に取組まなければならぬのは、これから串本町を支える若者の定住・住みよい町づくりです。

それには、町民一人一人が一体となって農林漁業、商工業、観光事業の育成に取組む姿勢が必要です。例えば農林漁業の活性化に向け「農・林・漁」が一体となって自然環境を整備しながら、建設産業も活性化します。国づくりは人づくり町づくりです。

昭和42年生 37歳 自営業  
私は、体制・反体制にとらわれず、住民にとってプラスになることに賛成し、マイナスになることは反対します。

極端な少子高齢化が進む串本町で、安心して子育てできる町にしていくこと。これが私のテーマです。

役場の事務については、町当局からは、防火対策は良好だという答弁をもらいましたが、これからも地震や火災対策について勉強していく必要があります。

初当選した私にとって初めての一般質問の場となつた6月議会では、防災の事と役場の事務の事について質問しました。

防災に関しては、上野山地区など高台にある住宅地の防火水槽の配置状況等について質問しました。

町当局からは、防火対策は良好だという答弁をもらいましたが、これからも地震や火災対策について勉強していく必要があります。

役場に伴い役場が一つになる過程で、効率的な事務処理の方法を選択してきたのか、等を質問しました。

町当局からは、11月を目途に組織の見直しをするということ、また各課内で効率化について話し合っていくという答弁をもらいました。



**梅野 光児**



# 平成17年度 町村議会全議員研修会 「地方は変われるか」 —新たな地方議会の役割—

講師：中央大学教授

**佐々木 信夫氏**

7月15日那賀郡岩出町「岩出町立総合体育館」にて、和歌山県町村議会全議員研修会が行われ、県内各町村より約500名の議員が参加しました。  
梅野・川勝・谷口・椿谷・寺町・濱田・古久保・水口・結城 議員が参加しました。

## 研修会の概要

日本の社会経済構造の変化に伴い、集権から地方分権への移行・合併による行政規模の拡大・財政危機等々、地方自治は大きな変革を迫られている。

このような状況の中で、地方議会・議員の役割とは？ また、何をなすべきか？ このことが研修会のテーマでありました。

講師から、問題点の指摘や様々な提案がなされ、出席した議員にとって、今後の議会活動に活かせる示唆に富んだ参考になる研修会がありました。

具体的な提案としては、「予算研究会」を議会において設置すること。等々、。

議事録は今後作成され次第、議会事務局と本庁総務課・古座分室・図書室・町立図書館に配備されます。

時間の都合で議会の傍聴に来れない方には議事録の閲覧も出来ます。

5月の臨時議会（選挙後の初議会）は多い日で57人。四日間で延べ12日間で延べ2百18人が傍聴されました。

特別委員会は委員長の許可を得て傍聴することになります。いずれも議会事務局にお申し出ください。

議会の本会議は原則公開となりますが、どなたでも傍聴することができます。また、常任委員会や

串本町議会は古座分室にあります。

**議会の傍聴をしてみませんか**

**編集委員** ★委員長 ☆副委員長

結城 力	★仲江孝丸	水口 崇	梅野光児	☆濱田勝裕
橋爪和雄				

初めての編集会議の時には全くの手探り状態での出発でしたが、旧串本町議会で編集経験のある二人の委員のリードのもと、全員で任務を分担し合い、無事議会だより創刊号の発行にこぎ着ける事が出来ました。馴れない誌面づくりで読みづらいところもあるうかと思いますが、皆さんのが批判も仰ぎながら、今後より良い誌面づくりに向けて精進してまいりますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

**編集後記**

